学校番号	１００１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究「詳説世界史」　（山川出版）						
副教材等	世界史探究「詳説世界史　授業用　ノート」　（山川出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界は多元化、差異化、多様化している。そのような世界の歴史や現代の社会問題とのつながりを学びながら、そこに生きた人々の楽しみ、喜び、幸せ、悲しみ、怒りを主体的に思い浮かべ、他者と自分の考えたことを意見交換し、知識理解の習得を目指す。

２　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	文明の成立と古代文明の特質	・文明の誕生 ・古代オリエント文明とその周辺 ・南アジアの古代文明 ・中国の古代文明 ・南北アメリカ文明	a: ①都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質、②オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したこと、②東アジア各地の風土が、それぞれの地で多様な生業とそれに基づく先史文化を生み出したこと、各地で人々の移動や交流がおこなわれたこと、③南北に長く広がるアメリカ大陸の各地で、それぞれの地域の環境に適応した文化・文明が発展したことを理解している。 b: ①壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、②農耕・牧畜の意義、③ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響、④南北アメリカ文明に共通する特徴などを多面的・多角的に考察し表現している。 c: 文明の誕生について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	中央ユーラシアと東アジア世界	・中央ユーラシア ・秦、漢帝国 ・中国の動乱と変容 ・東アジア文化圏の形成	a: ①秦・漢といった統一国家の支配体制について、②魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、③隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえたうえで理解している。 b: ①風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響、②兵馬俑や青銅貨幣など考古学的資料や『塩鉄論』禁耕などの資料をもとに、秦・漢の時代に生じた地域間の結びつきの変化や、統一国家の出現が社会や文化に与えた影響、③壁画などの図像資料や『旧唐書』輿服志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c:秦・漢帝国について、東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	西アジアと地中海周辺の国家形成	・イラン諸国家の興亡とイラン文明 ・ギリシア人の都市国家 ・ローマと地中海支配 ・キリスト教の成立と発展	a: ①アテネにおいてどのような経緯で民主政が出現したのか、またギリシア文化にはどのような特徴があるのか、②ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのか、③キリスト教をローマ帝国がどのように利用しようとしたのかなどを理解している。 b: ①ササン朝と法隆寺の「獅子狩」図案などの資料をもとに、イラン文明が世界の諸地域に与えた影響、②モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由、③当時の地中海世界の状況をふまえたうえで、キリスト教が急速に広がった理由などを多面的・多角的に考察し表現している。 c:古代ギリシアについて、古代ローマについて、キリスト教の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	・アラブの大征服とイスラーム政権の成立 ・ヨーロッパ世界の成立	a：①イスラーム教がどのように成立し、短期間で勢力を拡大していったのか、②西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかなどを理解している。 b：①イスラーム政権の拡大を示す地図やアラベスクなどの図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響、②荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c：イスラーム教の成立と拡大について、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	ヨーロッパ世界の変容と展開	・西ヨーロッパの封建社会とその展開 ・東ヨーロッパ世界の展開 ・西ヨーロッパ世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	a: ①中世の西ヨーロッパで発達した商業の活動状況とその特徴について、②ビザンツ帝国の衰退の過程と、その周辺のスラヴ人および非スラヴ人の動向について、③封建社会の衰退と教皇権の衰退の過程および中央集権国家に向けた西ヨーロッパ各国の動き、④中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことなどを理解している。 b: ①中世都市の景観を示す図像資料や当時の交通路を示す地図をもとに、十字軍が西ヨーロッパに与えた影響、②西ヨーロッパやイスラーム勢力との関係をふまえたうえで、ビザンツ帝国の衰退の要因、③大憲章や金印勅書などの資料をもとに、中央集権国家の形成に向けた各国の動きの共通点と相違点、④大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた図像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 中世の西ヨーロッパ・東ヨーロッパについて、西ヨーロッパ世界の変容、文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	東アジア世界の展開とモンゴル帝国	・アジア諸地域の自立化と宋 ・モンゴルの大帝国	a：①10～12 世紀の東アジアの情勢について、②モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。 b：①「清明上河図」などの図像資料や荘綽『鶏肋編』などの資料をもとに、宋代の経済発展が社会に引きおこした変化、②モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。 c：10～12 世紀の東アジアについて、モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	大交易・大交流の時代	・アジア交易世界の興隆 ・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	a：①「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのか、②ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 b：①「南蛮屏風」などの図像資料や鄭暁『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流、②ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラス＝カサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c：アジア交易世界について、ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	アジア諸帝国の繁栄	・オスマン帝国とサファーヴィー朝 ・ムガル帝国の興隆 ・清代の中国と隣接諸地域	a: ①オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのか、②ムガル帝国のおいて非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのか、③清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。 b: ①オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係、②ムガル帝国時代の細密画などの図像資料や領域を示す地図などをもとに、ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響、③皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清代の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違いを多面的・多角的に考察し表現している。 c: オスマン帝国とサファヴィー朝について、ムガル帝国について、清代の中国と隣接諸地域について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	近世ヨーロッパ世界の動向	・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・オランダ・イギリス・フランスの台頭 ・北欧・東欧の動向 ・科学革命と啓蒙思想	a: ①ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響、②新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布、③主権国家および主権国家体制の成立について、④オランダ・イギリス・フランスがそれぞれ持った有利な点や課題、⑤北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容、⑥科学革命と呼ばれる一連の変化がどのような背景で起こったのかを理解している。 b: ①美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しさと古さ、②「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因、③ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係、④ロシア・プロイセン・オーストリアの状況を比較したうえで、啓蒙専制主義による改革が各国におよぼした影響、⑤ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 c: ルネサンスについて、宗教改革について、主権国家体制の成立について、オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、北欧・東欧の動向について、科学革命と啓蒙思想について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

後期	産業革命と環大西洋革命	・産業革命 ・アメリカ合衆国の独立と発展 ・フランス革命とナポレオンの支配 ・中南米諸国の独立	a: ①業革命が 18 世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開、②アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのか、③フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景、④中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している。 b: ①当時の工場の様子を描いた図像資料や都市の人口を示す統計をもとに、産業革命が社会に与えた影響、②アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第 11 章４節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性、③「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。 c: イギリス産業革命について、アメリカ合衆国の独立について、フランス革命とナポレオンについて、中南米諸国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	イギリスの優位と欧米国民国家の形成	ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 ・アメリカ合衆国の発展 ・19 世紀欧米文化の発展と市民文化の繁栄	a: ①19 世紀のヨーロッパ情勢がどのように推移したのか、②南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。 b: ①ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響、②鉄道距離の推移を示す統計やイタリアとドイツの統一を示す地図などをもとに、19 世紀後半にヨーロッパの再編成が進んだ背景、③アメリカ合衆国の領土拡大を示す地図や大陸横断鉄道開通の写真などの図像資料をもとに、アメリカ合衆国の急速な発展の要因を多面的・多角的に考察し表現している。 c: ウィーン体制について、19 世紀後半のヨーロッパの再編成について、アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	帝国主義とアジアの民族運動	・第２次産業革命と帝国主義 ・列強の世界分割と列強体制の二分化 ・アジア諸国の変革と民族運動	a：①第２次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯、②列強による世界分割がどのように進められたかや列強体制の変化について、③アジア各地における改革や民族運動がどのように展開し、いかなる結果をもたらしたのかを理解している。 b：①国際情勢を風刺した図像資料や「白人の責務」などの資料をもとに、欧米列強が植民地や勢力圏の拡大を争った背景、②列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響、③アジア各地の情勢や梁啓超「中国積弱の根源について」などの資料をもとに、アジア各地の変革や民族運動の背景を多面的・多角的に考察し表現している。 c：第２次産業革命と帝国主義について、列強の世界分割について、アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	第一次世界大戦と世界の変容	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動	a: ①第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、②第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴とその後の国際関係の変化、③第一次世界大戦がアジア・アフリカの各地に与えた影響を理解する。 b: ①塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容、②各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容、③民族運動の様子を写した図像資料や胡適「文学革命についての書簡」などの資料をもとに、アジア・アフリカ各地の民族運動の特徴や共通性を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 第一次世界大戦とロシア革命について、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・第二次世界大戦 ・新しい国際秩序	a: ①世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯、②第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯、③第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴などを理解している。 b: ①政治的なポスターなどの図像資料や経済的な変化を示す統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を、またナチ党の全国党大会の図像資料や蔣介石「盧溝橋事件に関する廬山談話」の文字資料など、②戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴、③各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 c: 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、第二次世界大戦について、第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	冷戦と第三世界の台頭	・冷戦の展開 ・第三世界の台頭とキューバ危機 ・冷戦体制の動揺	a：①1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況、②冷戦がどのような過程をたどって終結したのかを理解している。 b：①原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響、②1990年前後の各地の様子を写した図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 c：オイル＝ショックとその影響について、冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

	冷戦の終結と今日の世界	・産業構造の変容 ・冷戦の終結 ・今日の世界 ・現代文明の諸相	a: ①冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、②現代思想・文化の特徴、③設定した課題の追究や解決のために、適切かつ効果的に諸資料を活用し、歴史的経緯をふまえて、地球世界の課題を理解している。 b: 各地の状況を写した図像資料などをもとに、今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向、②芸術作品を示した図像資料やジェンダー＝ギャップ指数を示した統計資料などをもとにみえる、人々の世界観や生活のありようの変化、③地球世界の課題の形成に関わる諸事象の歴史的背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、地球世界の課題の形成に関わる世界の歴史について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c: 今日の世界が抱えている課題について、現代文明の諸相について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 地球世界の課題について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	定期考査 提出課題 発問評価	定期考査 提出課題 発問評価 発表 レポート	提出課題 授業態度 発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度